

大地の成り立ちから 地域おける暮らしと学びを考える



長谷川修一

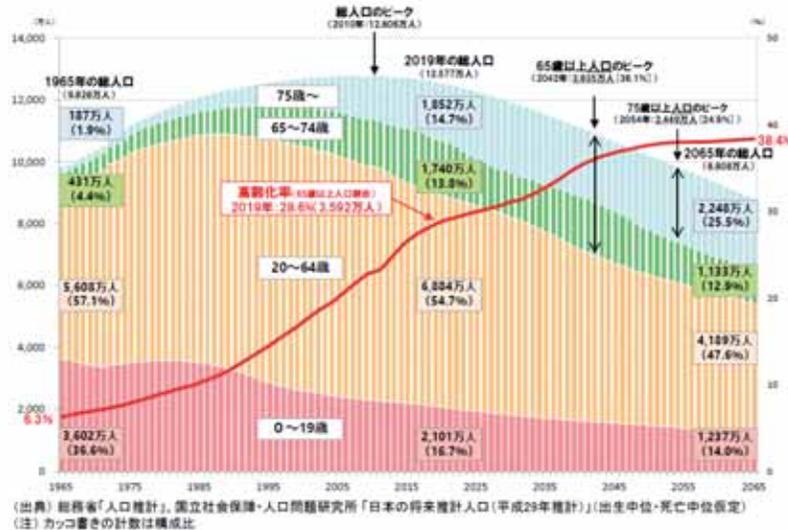
(放送大学香川学習センター客員教授、香川大学特任教授)

講演内容

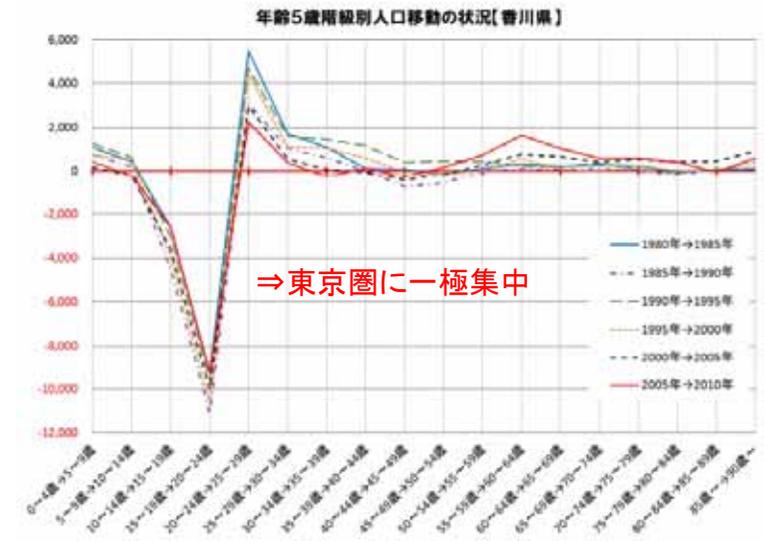
1. 20年後から考える地方と日本の危機
2. ジオパークとは
3. せとうち讃岐ジオパーク構想のねらい
4. 香川県の大地の成り立ちと暮らし・文化
5. ジオパークをめざしたこれまでの活動
6. せとうち讃岐ジオパーク構想の人づくり
7. おわりに

1. 20年後から考える地方と日本の危機

少子高齢化の進行 3人の現役世代が2人の高齢者を支える超高齢化社会



香川県の人口問題は 高校卒業時に人口が激減する進学就職問題



若者が東京圏に集中するとどうなるか？

- 東京の一流大学に進学して、中央官庁、一流企業に就職するため(立身出世のため)
- 地方から東京の大学に1人進学させため、親は年間約200万円の仕送りを最低4年間続けたら？
- その間、親は節約して、地方経済を停滞させる。
- 子供は1~2人限界 少子化を推進
- しかも、特殊出生率が日本一低いのは東京(1.20人)
- これを、すべての親が行うと日本はどうなるのか？
- 地方は滅びる、日本も衰退する
- 持続不可能な社会

若者が集中する大都会はどのようなところか？

スイスの再保険会社スイス・リーが2013年にまとめた「自然災害リスクの高い都市ランキング」

1. 東京・横浜
2. マニラ
3. 広州、香港、マカオ珠江デルタ地域
4. ジャカルタ
5. 大阪・神戸
6. 名古屋
7. コルタカ
8. 上海
9. ロサンゼルス
10. テヘラン

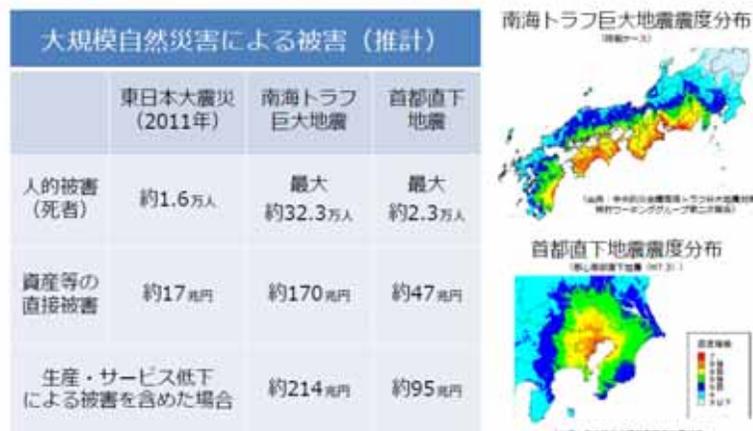
・スイス・リーの調査は、世界616都市を対象に、洪水、嵐、高潮、地震、津波などのリスクなどで被災する人口を推計。5つのリスクすべてに影響を受ける人口が最も多い都市は、東京・横浜圏が5710万人でトップ、4位に大阪・神戸圏の3210万人、6位に名古屋圏の2290万人となる(ちなみに、労働損失日数指数でのランキングも調査していて、東京圏・大阪圏・名古屋がそろって上位ワースト3を占める)。

<http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPTYEA2R03K20140328>

有名大学に進学すると安心ですか？

20年後、どこで暮らしていたら残ることができるか？
東京、名古屋、京阪神、それとも地方？

今後20年以内に50%程度の確率で発生する地震



https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/pdf/sekaihehasshin.pdf

東井義雄(1957)「村を育てる学力」

立身出世だけに進学の道を求める教育は国を滅ぼすものだ。村を育てる学力は、町を育てる学力であり国を育てる学力だ。新しい勇気を与える

書紹介

東井 義雄 (とおい よしお) 著書を検索
明治45年4月、兵庫県出石郡但東町に生まる。
昭和7年3月、兵庫県姫路師範学校卒業。
昭和47年3月、兵庫県八鹿町立八鹿小学校長を最後に教員生活40年で退職。

もくじ

- I 村の教師はどう生きるか
- II 生きているということのすばらしさの中で
- III 村の子らに力を——村を育てる「学力」と「構え」

あとがき

<https://www.meijitoshu.co.jp/detail/4-18-063041-9>



現在絶版なので、復刊投票中。ぜひ投票してお読みください@3750円

「総合的学習の時間」、または今後の展開が期待される「アクティブ・ラーニング」の方法論としても通用しうる、日々の生活や寄って立つ地元に根ざした学習論

- ・学習の基盤に、この国土や社会に対する「愛」を据え付けたい
- ・村を育てる学習は愛の立場からの学習
- ・愛は、身のまわりの物事を、「自分のこと」として考え、力を引き出す

今までの教育、これからの教育

地域・国を捨てる
学力を育成

- 全国共通、世界共通とされた普遍的な価値を教育
- 日本の、更にはグローバル企業戦士を育てる
東京一極集中
- 勝ち組、負け組みに分離
富は0.1%に集中

地域・国を育てる
学力を育成

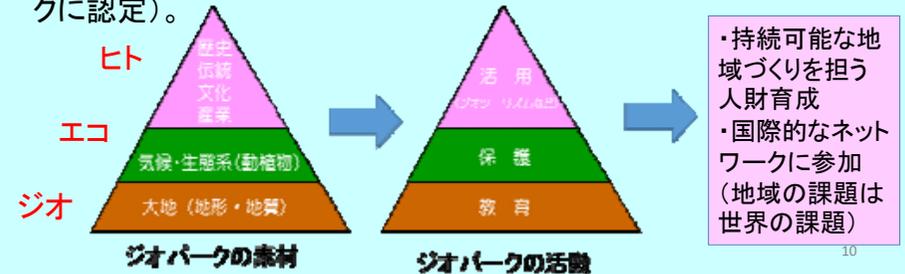
- ローカルな価値に気づき、土地の知恵を身につける
- 地域の持続的な発展に貢献できる人財を育てる
- 巨大自然災害には皆が負け組、助け合う災害文化
- 誰一人取り残さない社会

World Values (普遍的な価値) : Local values (地域の知恵) = 7 : 3

- 地域の良さ、魅力、世界的価値を教えるには？
- 国土や社会に対する愛を据え付けるには？

2. ジオパークとは

- ジオパーク: 地球活動の遺産を主な見所とする大地の公園で、大地の成り立ちと人とのつながりを考えるところ。
- ジオパークは、ユネスコの支援により2004年に設立された世界ジオパークネットワーク(GGN)により、世界各国で推進。
- 2015年11月からユネスコ支援のプログラムから、世界遺産と同じユネスコの正式なプログラム・ユネスコ世界ジオパークに。
- 2021年9月現在、世界44カ国、161地域にユネスコ世界ジオパークに認定。そのうち9地域が日本に(9地域を含む44地域が日本ジオパークに認定)。

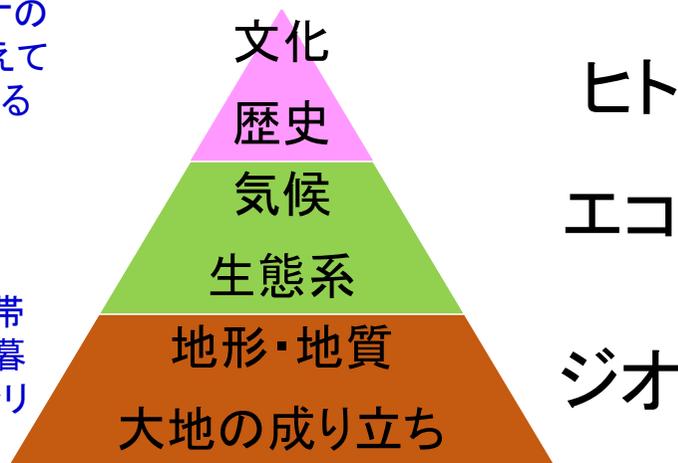


ジオパーク: グローバル化社会の村を育てる教育

ヒト、エコ、ジオの
つながりを考えて
地域を深く知る

誇りをもって
地域を語る

世界的な変動帯
(災害列島)に暮
らす覚悟とレジ
リエンスを養う



視野を地球の違う場所に住む人たちに広げる
ローカル同士の共感・連帯⇒世界的なネットワーク

なぜジオパークなのか？

- グローバリズムに負けない地域を作る哲学と方法論がある(真の地方創生)
- 宇宙・地球の仕組みをよく知り、自然の恵みと脅威を理解する(防災と同じ視点)
- 競争より、共生・助け合い・連携を目指す(防災と同じ)
- 地域のことを一所懸命考え一所懸命働き、世界(local)の人たちと繋がる(防災と同じ)
- ボトムアップアプローチ
地域を支える自分たちが主役
- 村を育てる学力を育てることができる

一所懸命: 地域の課題解決は世界の課題解決に通じる
Think locally, act locally, network globally!

ユネスコ世界ジオパークのトップ10トピックス

- 天然資源
- 地質災害
- 気候変動
- **教育**
- **科学**
- **文化**
- 女性
- **持続可能な開発**
- **地域及び先住民の知恵**
- 地質遺産の保全

https://geopark.jp/geopark/pamphlet/pdf/uggp_panf.pdf

13

ジオパークは災害列島に暮らす究極の防災教育

香川大学 ジオパーク×防災 シンポジウム

2021年9月26日

—大地の成り立ちから考える持続可能な地域づくり—

大地と私たちのつながりをテーマとするジオパーク(大地の公園)の視点から地域の強みと弱みを知り、持続可能な地域づくりと防災について一緒に考えませんか？

- 13:30-13:35 開会挨拶 吉田 秀典 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 機構長)
- 13:35-13:40 実演挨拶 工代祐司 氏 (香川県教育委員会教育長)
- 13:40-13:50 趣旨説明 長谷川 修一 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携)
- 13:50-14:30 基調講演1 異 好幸 氏 (神戸大学高等研究院海共生研究アライアンス) ジオパーク:世界一の「変動帯」日本列島に暮らすということ
- 14:30-15:10 基調講演2 中川 和之 氏 (時事通信解説委員、日本地震学会理事) 大地がもたらす恩恵と災いをジオパークで発見する
- 15:25-16:45 パネルディスカッション「ジオパークの視点による持続可能な地域づくりとコーディネーター: 金田 義行 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構) パネリスト: 今岡 幹典 氏 (讃岐ジオパーク構想推進準備委員会副委員長、香)
- 新聞 得央 氏 (株式会社瀬戸内海放送取締役専務執行役員)
- 高橋 司 氏 (四国西予ジオパーク推進協議会 事務局長)
- 野々村 敦子 (香川大学創造工学部 准教授)
- 吉岡 修一 氏 (国土交通省四国地方整備局四国山地砂防事務所)
- 16:45-16:50 閉会挨拶 永永慶寛 (香川大学創造工学部長)



異 好幸 氏
NHK「ジオ・ジャパン1、ジオ・ジャパン2」で監修・解説を務めた。著書に「地震と噴火は必ず起こる」(新潮選書)、「和食はなぜ美味しい-日本列島の贈り物」(岩波書店)ほか多数。

*新型コロナウイルスの状況によっては、講師は遠隔参加の可能性が有ります。

ジオパークを名乗るためには

- ①まず、日本ジオパークネットワーク(JGN)への正会員になる。
- ②それには、日本ジオパーク委員会(JGC)の審査がある。「ジオパークを目指す地域は、持続可能な地域社会の実現のために、ジオパークとして、その地域にあったやり方で住民、行政、研究者などの関係者が、ともに考え続けているか。」(日本ジオパーク委員会JGC)



<http://jgc.geopark.jp/howtoapply/>

14

日本のジオパーク

- 世界GP: 隠岐 山陰海岸 室戸
- 日本GP: 四国西予 土佐清水
- 準会員: 三好

瀬戸内を代表するジオパークがない
せとうち讃岐ジオパーク構想



<http://www.geosociety.jp/uploads/fckeditor/geopark/JGNPoster.pdf>

16

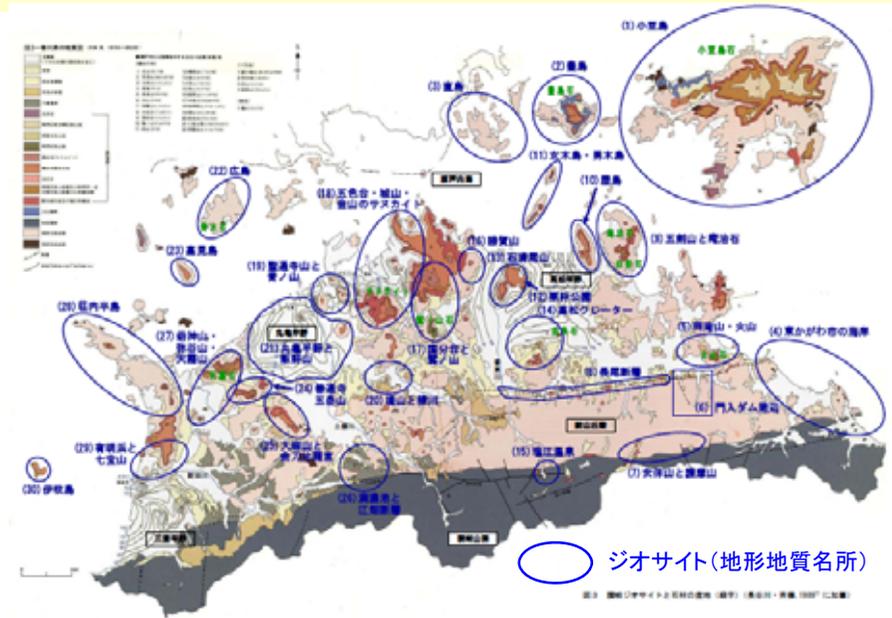
3. せとうち讃岐ジオパーク構想のねらい

せとうち讃岐ジオパークは大地の成り立ちから讃岐の強みと弱みを考え、強み(世界的価値)を地方創生に、弱みを防災教育に活用するだけでなく、**弱みを逆手にとって地域の強みに変え**、地域の持続的な発展を目指す活動



郷土に世界的な価値を見出し、郷土に誇りを持つ
グローバルズム・自然災害に負ない持続可能な地域へ

讃岐と備讃瀬戸をユネスコ世界ジオパークに

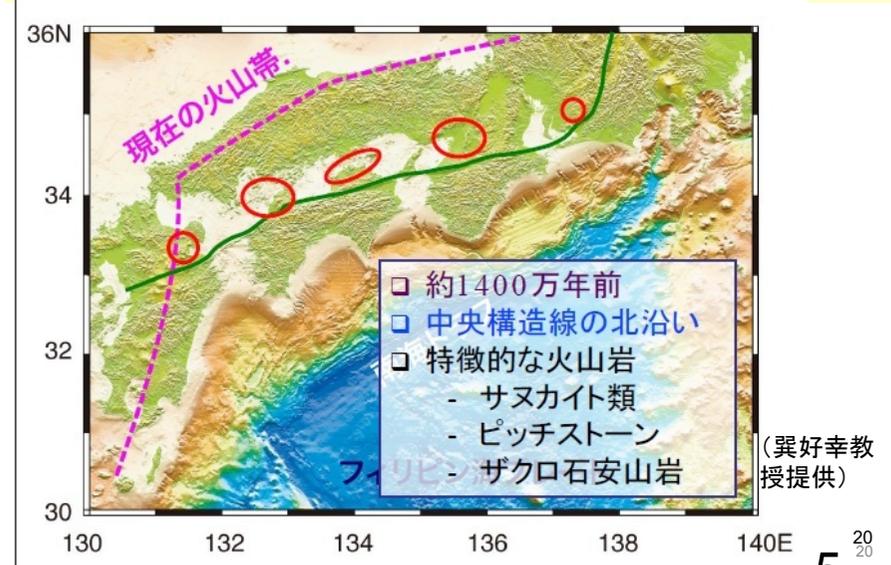


讃岐の里山と備讃瀬戸の世界的価値

約1400万年前の奇跡の瀬戸内火山活動による**讃岐層群(齊藤,1962)**のが香川県全域にある()。

- (1) サヌカイトマグマの形成(巽好幸マグマ論)
奇跡の石・サヌカイトの誕生
サヌカイトは**讃岐の石(讃岐岩)**
小豆島はマグマ研究者の聖地
- (2) 瀬戸内火山岩類が侵食されてできた讃岐平野と備讃瀬戸の造形美
屋島、**讃岐富士**、寒霞溪など
神々が降りる聖なる信仰の山
- (3) 多様な火山岩類を利用した旧石器時代から現代まで続く多様な石の文化
サヌカイトの聖なる音色
讃岐は世界でもユニークなジオパークの可能性

(1) 約1400万年前の瀬戸内火山活動によってサヌカイト類が誕生



(巽好幸教授提供)

サヌカイトとは？

命名:ドイツの地質学者ナウマン (Naumann) は、日本の讃岐地方には叩くとよく響く「カンカン石」と呼ばれる石材がある・・・と1885年ドイツの学術誌に紹介した。それから6年後、ナウマンからこの石の提供を受けたヴァインシエンクは、観察の結果、極めて細粒緻密で、今までにないタイプの岩石であることを発見し、前記のように「サヌカイト」という名前を与え、1891年に学会で発表した。

- ・岩石名: ガラス質古銅輝石安山岩
- ・噴出年代: 1350万年前

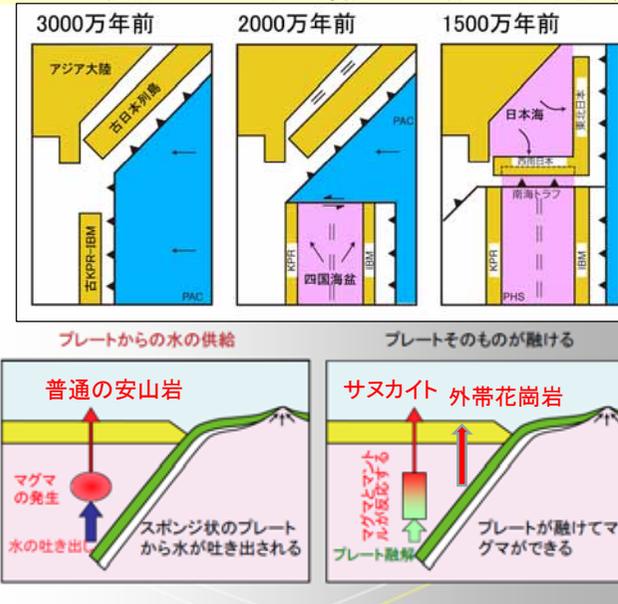


0.1mm



21

日本海拡大に伴う1400万年前の火成活動は 熱いプレートが融けて起こった(巽好幸説)



奇跡の瀬戸内火山活動
サヌカイトの誕生
地球における大陸誕生の謎を解く鍵
外帯花崗岩の形成
四国山地の隆起
瀬戸内海式気候

(巽好幸教授の原図に加筆) 22

小豆島は世界のマグマ学者の聖地 世界初マントル直結安山岩の発見を説明する巽好幸教授



(小豆島石の魅力創造シンポジウム, 2013.10.5)

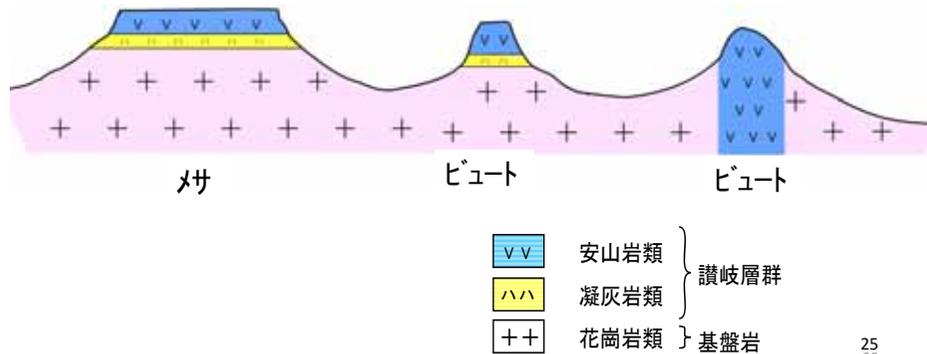
(2) 瀬戸内火山岩類が侵食されてできた 讃岐平野と備讃瀬戸の造形美



瀬戸内火山活動とその後の土砂災害(自然の彫刻)の賜物

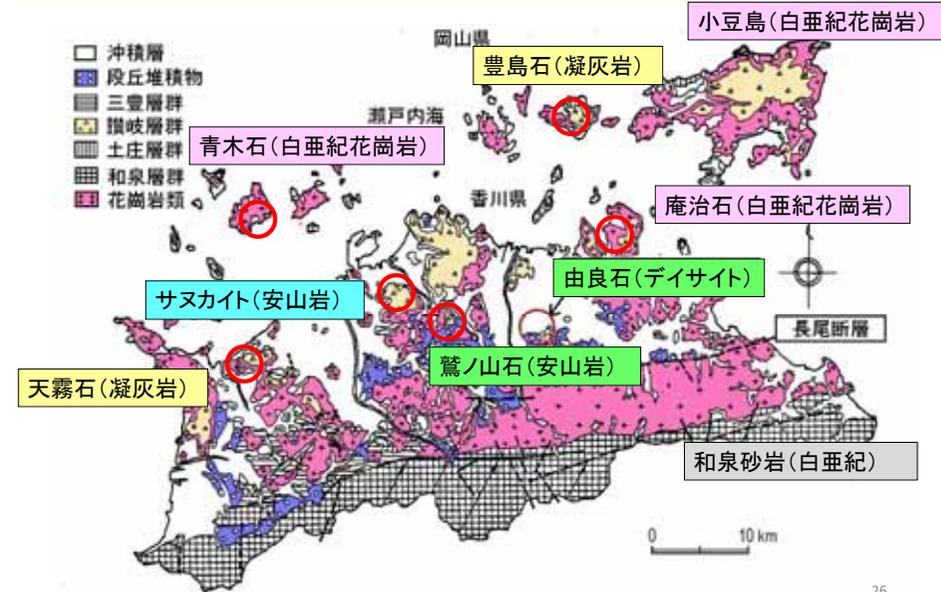
讃岐平野と備讃瀬戸の里山は 約1300万年間の侵食を受けて残った残丘

ビュート＝鉛筆の消しゴム
火山岩頸＝鉛筆の芯
削られても、削られても円錐形を保てるのはどちらか？



25

(3) 世界に誇る備讃瀬戸と讃岐の石の文化



26

旧石器時代から現代に至る 世界に誇る讃岐の石の文化

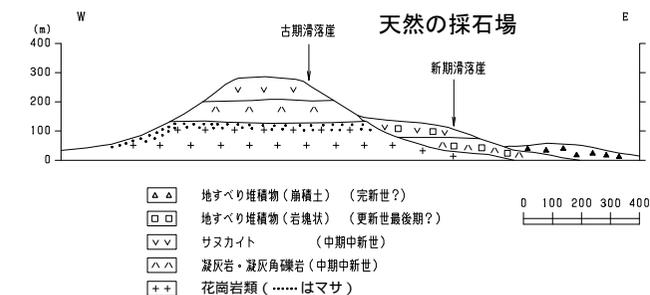
- 現代: 石材(花崗岩類・庵治石など、由良石)
骨材(安山岩、砂岩、花崗岩など)
楽器(サヌカイト: 金山、連光寺山)
- 近世: 和泉砂岩石造物(狛犬)(鷲ノ山石・由良石)
石造物(黒い火山礫凝灰岩・豊島石など)
城郭の石垣(花崗岩類・小豆島など)
- 中世: 石灯籠(白い凝灰岩類・天霧石など)
- 古墳時代: 石棺(鷲ノ山石(安山岩)、火山石(凝灰岩))
- 弥生時代: 石器(サヌカイト・金山)
- 縄文時代: 石器(サヌカイト・金山)
- 旧石器時代: 石器(サヌカイト・金山、国分台)

27

讃岐の石の文化は旧石器時代から始まる 縄文時代に中国四国を席捲した金山産サヌカイト石器



金山東斜面は地すべりによる天然の採石場



7

サヌカイトのルネサンス

坂出市金山は世界一のサヌカイト石器の里
世界唯一のサヌカイト楽器の里



前田仁博士
(サヌカイト楽器の創作者)

琮を演奏するエダー博士
(ジオパークの提唱者)



石琴(Kin)

磬(Kei)



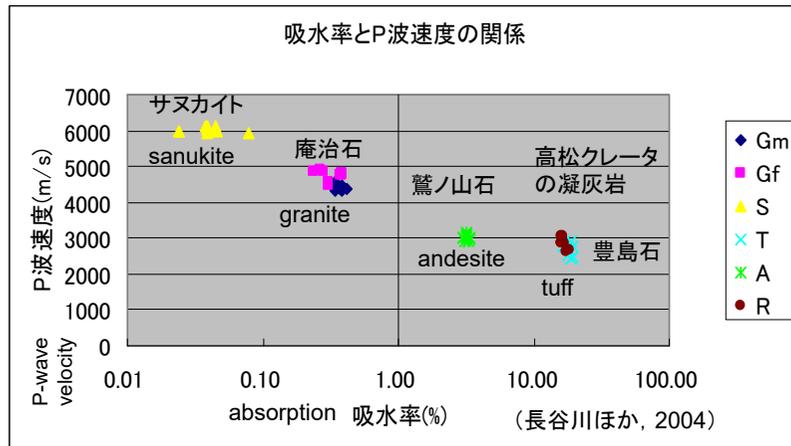
琮(Sou)

琅(Rou)

30

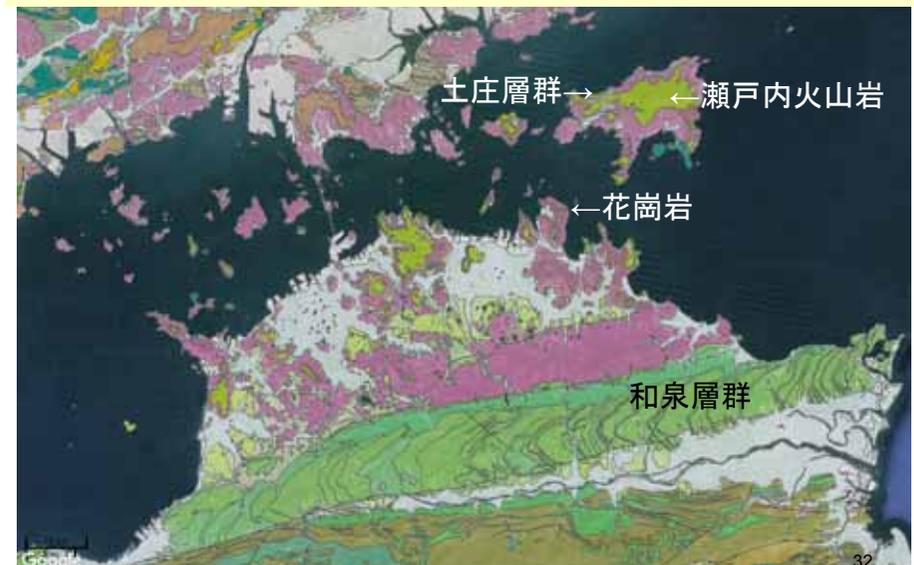
サヌカイトの物理特性

Physical property of Sanukite



極めて緻密で、P波速度が非常に大 振動が減衰にくい 31

4. 香川県の大地の成り立ちと暮らし・文化



<https://gbank.gsj.jp/geonavi/geonavi.php#latlon/10,34.38275,134.346128>

32

香川県に分布する岩石と地層の時代

地質時代 (Ma)	地層名	岩質	堆積環境など	主な化石	名所・名跡		
第四紀	完新世	沖積層	砂・礫及び粘土	三角州・扇状地成層	-10m 海棲貝類 (臨海部)	讃岐平野	
	更新世	段丘堆積物	砂・礫及び粘土	扇状地成層	ナウマンゾウ	ため池	
		(焼尾峠礫層)	砂・礫及び粘土	(扇状地成層)	トウヨウゾウ、アカシゾウ、メタセコイヤ	満濃池	
新生代	三豊層群	砂岩・泥岩	湖河成層				
	鮮新世						
	新第三紀	中新世	讃岐層群	凝灰岩・安山岩・流紋岩など	火山岩、火山砕屑岩 湖成層	フウ、フナ、コイ科	屋島、讃岐七富士、寒霞溪、サヌカイト、由良石
		漸新世	土庄層群	砂岩、泥岩、亜炭礫岩	浅海成層 (一部潟湖成)	タマガイ、サメ	地すべりによる朝田、豊島石
	中生代	白亜紀	和泉層群	砂岩・泥岩互層、礫岩など	海成層	アンモナイト、イノセラムス、コダイアマモ	讃岐山脈
		領家花崗岩類	黒雲母アゲマロ岩、花崗閃緑岩	深成岩		白砂青松、庵治石、青木石、小豆島石	
ジュラ紀		領家変成岩類	ホルンフェルス、片麻岩、雲母片岩、変成輝緑岩、結晶質石灰岩	海成層 (変成岩)	放射虫		
古生代	三疊紀						

33

せとうち讃岐ジオパーク構想のジオストーリー

- ① 1億年前: 花崗岩を造った大規模なマグマの活動
土砂災害 白砂青松の砂浜 塩田 醤油
花崗岩の石の文化 城郭石垣、石碑・墓石などの建材
- ② 1400万年前: 日本海拡大直後の瀬戸内火山活動
寒霞溪、屋島、飯野山等の造形美
サヌカイト等の石の文化
四国山地の隆起 瀬戸内気候区
- ③ 300万年前以降: 中央構造線の右横ずれ断層運動
瀬戸内海の形成 瀬戸の塩田、灘のいりこ
讃岐山脈の隆起 少雨の扇状地 ため池文化
小麦の産地 扇状地に伏流水 讃岐うどん文化
瀬戸内を代表するジオパークに

1億年前: 花崗岩を造った大規模なマグマの活動



花崗岩は約1億年前ユーラシア大陸の東縁の地下5-10kmの所で冷却・固結し、その後2000万年かけて隆起し大山脈を形成し、その後の浸食の結果、約7000万年前には地表の露出した。花崗岩は硬質だが、長期間にわたる風化によって地表ではマサ(土)とが形成され、土砂災害の素因になっている

花崗岩の巨石は磐座・神の依りしろ



9

日本一の石の街

イサム・ノグチ
庭園美術館



庵治石を
利用した
石材業



1億年前に地下5kmで冷え固まった花崗岩が隆起して、 地表で風化したマサ土の崩壊による土石流災害



1976年台風17号による土石流災害

台風17号の被害(昭和51年)

1400ミリという未曾有の集中豪雨が山肌に爪跡を残した

西村地区(竹東)
山に押し寄せた土砂が崩れ落ちたことにより、
町内各地に被害が出た。

(小豆島町「小豆島災害の記録」)

まさ土の土石流と名産 小豆島のオリーブ



鬼無の盆栽

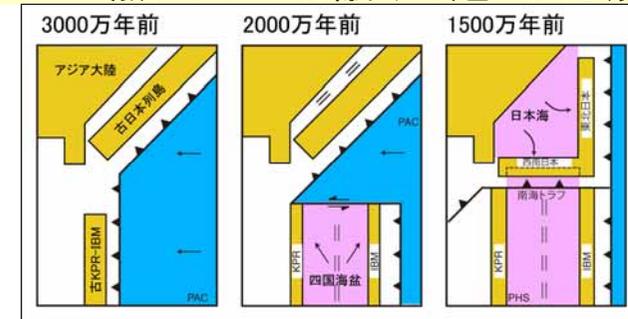


白砂青松と塩田の砂

琴弾公園の銭形

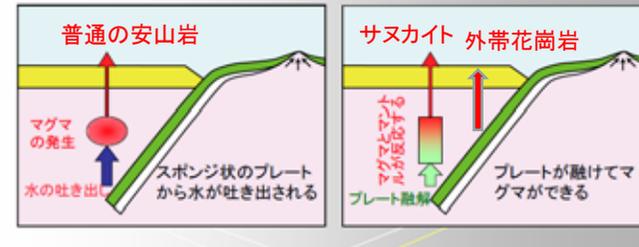


②日本海拡大に伴う1400万年前の火成活動は 熱いプレートが融けて起こった(異好幸説)



プレートからの水の供給

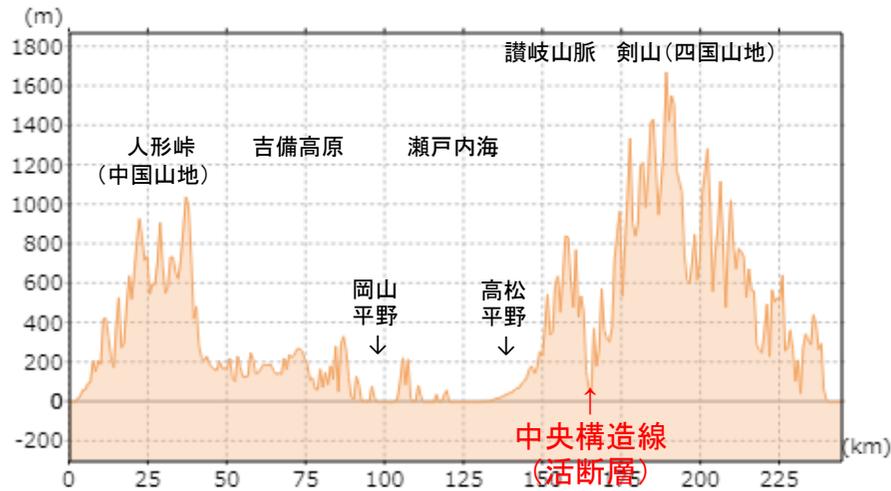
プレートそのものが融ける



奇跡の瀬戸内
火山活動
サヌカイトの誕生
地球における大陸誕生の謎を解く鍵
外帯花崗岩の形成
四国山地の隆起
瀬戸内海式気候

(異好幸教授の原図に加筆)⁴⁰

四国山地が隆起して瀬戸内気候区ができる



(国土地理院地理院地図の断面図作成機能を利用して作成)

瀬戸内火山岩類が侵食されてできた讃岐平野と備讃瀬戸の地形の多様性



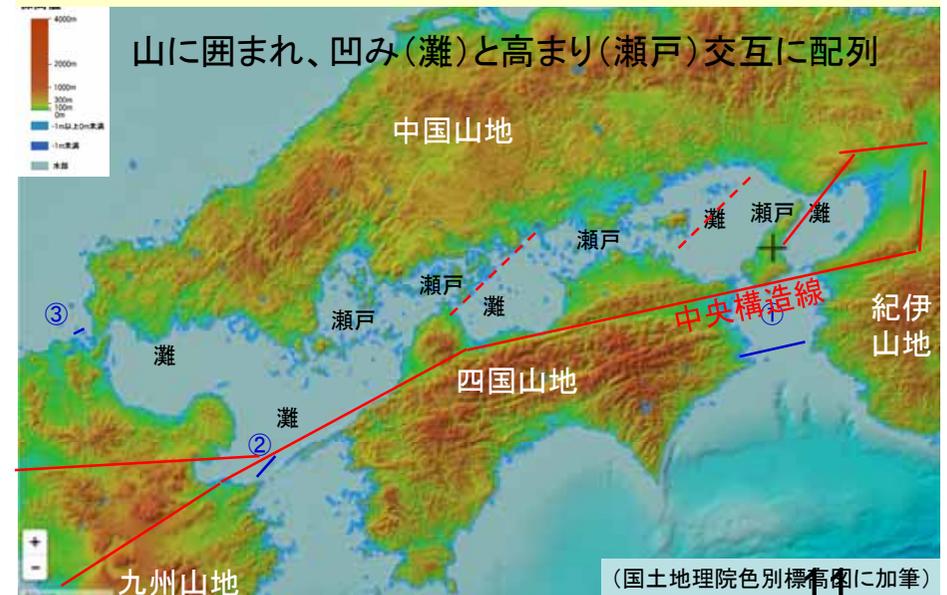
香川県産石材の物性値(乾燥状態)

石材名	岩石名	乾燥密度 (g/cm ³)	吸水率 (%)	S波速度 (m/s)	P波速度 (m/s)	点載荷強さ (MPa)
サヌカイト	古銅輝石安山岩	2.60	0.04	2337	6030	12.9
由良石	黒雲母デイサイト	2.43	2.13	2405	4115	3.7
鷺ノ山石	両輝石角閃石安山岩	2.35	3.18	1530	3025	5.1
天霧石	流紋岩質凝灰岩	1.66	18.30	1089	1836	0.6
豊島石	玄武岩質火山礫凝灰岩	1.71	18.25	1292	2666	1.8
和泉石	砂岩	2.55	1.46	2427	4538	4.0
庵治石	黒雲母花崗岩	2.63	0.26	2762	4704	7.5

瀬戸内火山岩類(讃岐層群)の多様な物性を持った岩石が多様な石の文化を育んだ

讃岐の石の文化と産業は瀬戸内火山岩の賜物

③300万年前から中央構造線が右横ずれ断層運動を開始 讃岐山脈と瀬戸内海の瀬戸と灘が形成される



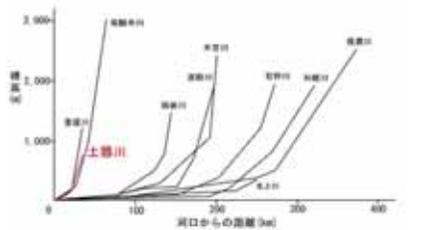
丸亀平野—讃岐山脈断面図



讃岐平野にはなぜため池が多いのか



土器川では上流の豪雨になれば、一気に河川水位が上昇し、海に流れる



2015年台風11号通過1週間後の土器川(水無し川に戻る)

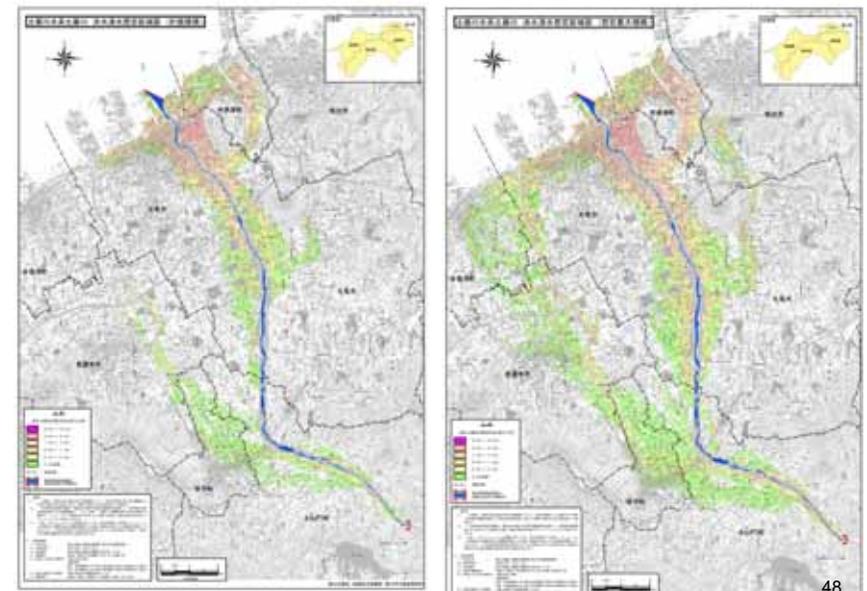


(2015.7.24)

土器川が氾濫したら？

図-2.1.3 平成16年10月の台風23号による洪水の流量・水位(観測最大流量記録)

土器川が氾濫すると、大東川や金倉川へ氾濫



小川郷の八幡神社の氏子は、土器川を挟んで、東小川(飯山町)と西小川(現在の丸亀市川西町)に分断されている



土器川浸水想定区域(最大規模) <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/river/seibikeikaku/PDF/seibikeikaku03.pdf>

丸亀平野は江戸時代からの小麦の産地



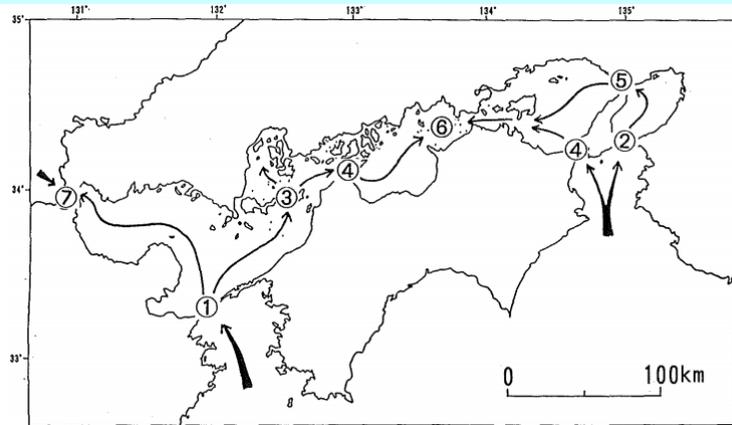
江戸中期に出版された「和漢三才図会」には「讃州丸亀の産を上とす・・・」と記載

地下水を利用する長田うどん

讃岐うどんは扇状地の弱みを逆手に強みに変えた食文化
中央構造線の断層運動(巨大直下型地震)の賜物

④瀬戸内海の形成過程

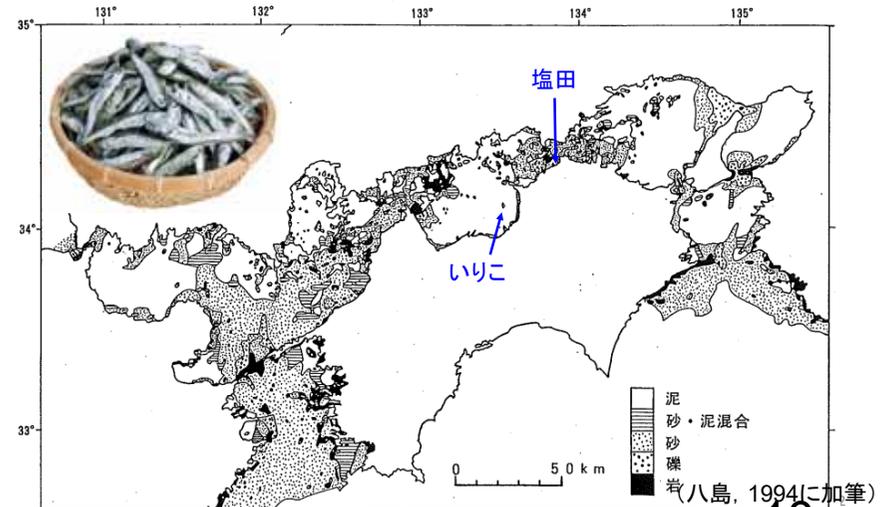
20,000～18,000年前の最終氷期最盛期に陸上であった瀬戸内海は、海水準の上昇に伴い、紀伊・豊後両水道から海が侵入して次第に沈水して海域を拡大し、最終的に関門海峡の成立により、現在の瀬戸内海が完成した(八島, 1994)。



(八島, 1994) <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/GIJUTSUKOKUSAI/KENKYU/report/rhr30/rhr30-08.pdf>

瀬戸内海の海底地質

- 備讃瀬戸: 砂質堆積物 塩田 醤油
- 燧灘: 泥質堆積物 カタクチイワシ(いりこ) 出汁



さぬきうどんの成立条件

1. 良質の小麦がとれたこと
 水はけが良い扇状地 ← 讃岐山脈の隆起 ← 中央構造線
 雨が少ない 瀬戸内海式気候 ← 1400万年前の火山活動による四国山地の隆起
2. 塩作りがさかんであったこと
 雨が少ない 瀬戸内海式気候 ←
3. しょうゆの名産地だったこと
 塩の産地 塩 瀬戸内海式気候 ←
4. 美味しいいりこがとれたこと
 瀬戸内海 ← 中央構造線 ←
5. 良質の地下水が大量に得ることができること
 扇状地 ← 讃岐山脈の隆起 ← 中央構造線

53

讃岐うどん文化のジオストーリー

- 1億年前の花崗岩の形成
 その後隆起して、地表で風化して、マサの形成
 マサの崩壊・土石流によって、砂浜(干潟)の形成
 古代から塩田、近世以降は醤油の生産
- 1400万年前の瀬戸内火山活動と四国山地地下に花崗岩
 四国山地が隆起を開始
 瀬戸内海式気候の形成
 少雨(夏も冬も) 小麦の栽培
 日照時間が長い 塩の生産
 瀬戸内火山活動 ササカイト類の生成 侵食による讃岐富士
- 300万年前から中央構造線の活動
 讃岐山脈の隆起 雨に対する2重の衝突 瀬戸内一番の小雨
 瀬戸内に隆起域(瀬戸)と沈降域(灘)の形成
 讃岐山脈の隆起 扇状地の形成 灌漑が必要 ため池
 扇状地の良好な水はけ 小麦栽培 小麦粉
 豊富な地下水 うどん店
 約1万年前瀬戸内への海の進入 いりこ塩の産地
 中央構造線が讃岐うどんの文化を育んだ

54

約300万年前から中央構造線が右横ずれ断層運動を開始し
 中央構造線の断層運動によって讃岐山脈が隆起した

- ①300万年前、古吉野川は香川県側に流れていた
- ②讃岐山脈の隆起によって吉野川は池田から東に流れを変えた。
- ③讃岐山脈の隆起によって、北側と南側に扇状地が発達。
- ④扇状地は河川勾配大、礫質で保水性悪い 水不足の土地に

稲作には灌漑が不可欠

何をしたのか?

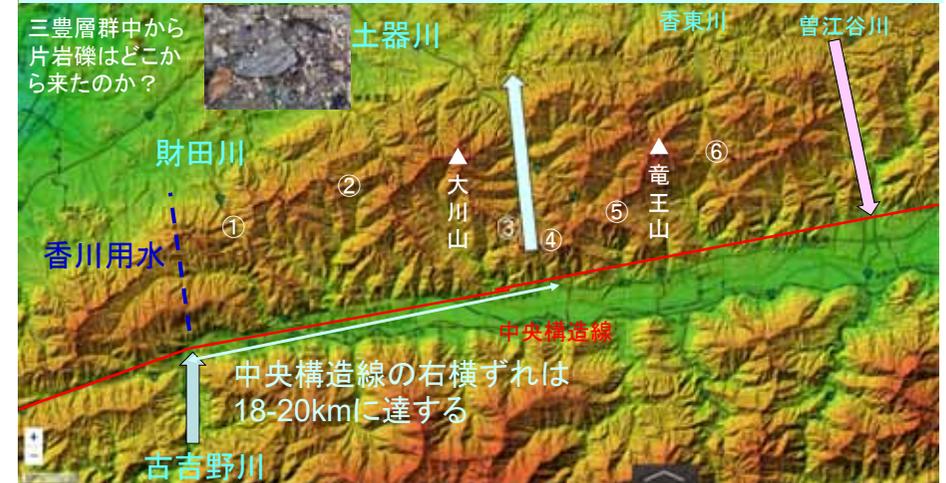
ため池
香川用水



55

300万年前土器川の上流は吉野川だった

- ①猪鼻峠・②栗山峠 財田川 ⑥相栗峠 香東川
 ③真鈴峠・④滝ノ奥峠・⑤三頭峠 土器川

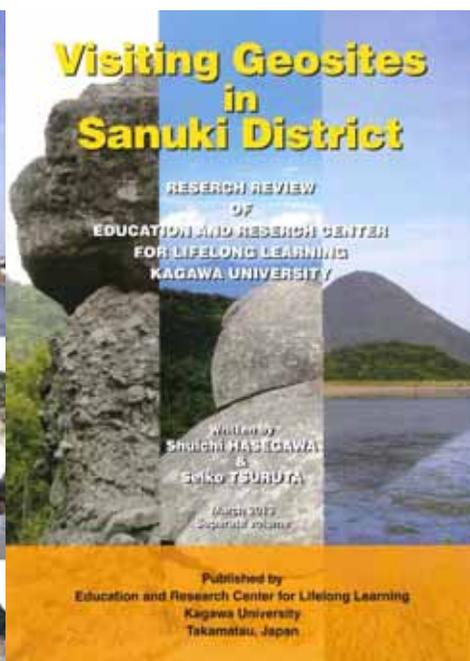
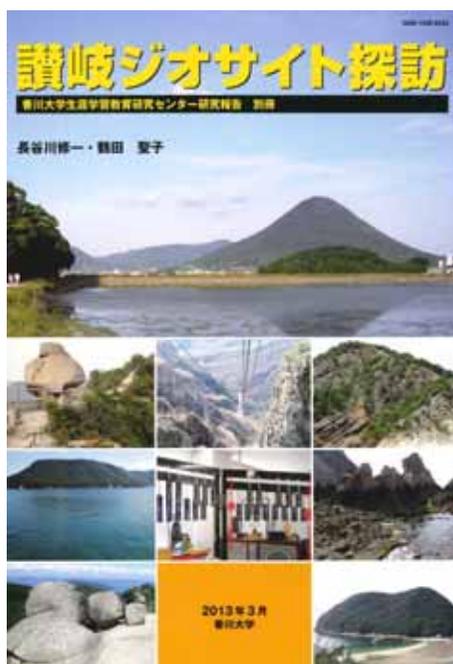


56

5. ジオパークをめざしたこれまでの活動

- ・講演会・セミナー等の講師(2010～)
- ・香川大学公開講座
 - 「讃岐ジオサイト探訪」(2010～2018)
 - 「讃岐ジオサイト探求」(2014、2015)
 - 「讃岐ジオガイド養成講座」(2016～)
 - 「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」(2019～)
- ・讃岐ジオパーク構想推進シンポジウム(2012～2015)
- ・小豆島・石の文化シンポジウム(2012～2016)
- ・香川経済同友会による「讃岐ジオパーク」の推進体制に関する要望書の提出(2014)
- ・讃岐ジオパーク構想推進準備委員会設立(2019年11月)
- ・NHKブラタモリ出演(2017年1月)
- ・NHKジオ中四国(2020年1月)・ジオ・ジャパン2出演(2020年6月)
- ・福武財団瀬戸内海地域振興助成(2020～2021)
- ・てくてく讃岐でジオの視点によるまち歩き・里山歩きを開始(2021～)

香川大学公開講座 讃岐ジオサイト探訪(2010～2013年) 讃岐ジオサイト探求(2014年～2015年)



ブラハセ×ジオ・アート×讃岐ジオパーク構想 連携推進シンポジウム 2020年2月16日

ブラハセ #1

鬼無はなぜ世界一の盆栽の里になったのか？

1. 日時: 2019年3月2日(土)
2. 場所: 高松市鬼無町
3. 案内人: 防災・危機管理コース1年生8名(教職員4名)
4. 参加者: 高校生30名、高校教員12名
5. 内容: 高校生を対象、大地の成り立ちと植生・土地利用・災害との関係歩きながら理解をした。



ブラハセ #2

真備探検隊～真備の成り立ちを探れ～

1. 日時: 2019年8月11日(日)
2. 場所: 倉敷市真備町
3. 案内人: 防災・危機管理コース1年生・2年生計14名(教員4名)
4. 参加者: 小学生4名と保護者4名(計8名)
5. 内容: 2018年の西日本豪雨災害で甚大な浸水被害を受けた真備町において、昨年の水害と過去の水害の歴史と大地の成り立ちとの関係を理解しながら歩いた。



小豆島の風土にねざした瀬戸芸参加作品
「演劇でみる小豆島のカタチ」

トラと呼ばれたサル



蛙の池の今昔物語

讃岐ジオガイド養成講座

回	月日	時間	テーマ
1	2020年 10月 4日(日)	10:00~11:00	ガイドンス・リスクマネジメント
2		11:10~12:10	ガイド技術(ガイドに必要な要素)
3		13:00~14:00	お客様を楽しませるプログラム作り
4		14:10~16:10	コミュニケーション(ワークショップ含む)

[担当講師]長谷川 修一(香川大学創造工学部教授) 横山 昌太郎(地域ガイド(全国通訳案内士))



香川大学認定讃岐ジオガイドの誕生



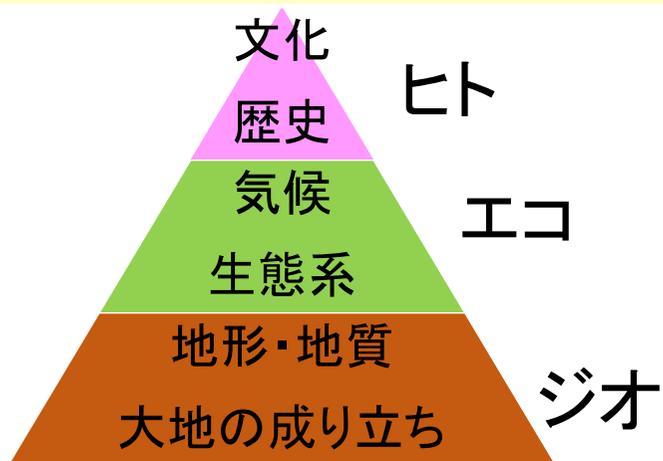
ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト③飯山南



山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク 第4回 みんなの発表会(2021年1月24日)



6. せとうち讃岐ジオパーク構想の人づくり



- ① 大地の成り立ちから地域の強みと弱みを理解する
- ② 幾度も災害を乗り越えた歴史と教訓を伝承する
- ③ 壊滅的な被害を受けてもあきらめない郷土愛を育む

せとうち讃岐ジオパーク構想がめざす人材像

- 【地域理解】大地の成り立ちからヒト、エコ、ジオとつながりを考えて地域を深く考える人材
- 【郷土愛】誇りをもって地域を語り、他の地域への共感をもつことができる人材
- 【課題発見・解決能力】
 - ・地域の強み(ジオ資源)を保全活用した、地域の持続可能な社会活動を推進することができる人材
 - ・地域の弱みを認識し、防災減災だけでなく、弱みを逆手にとって強みに転換することができる人材
- 【レジリエンス能力】
 - 幾度も災害を乗り越えた歴史と教訓を伝承し、壊滅的な被害を受けてもあきらめないで郷土でかンぱることができる人材
- 【海外への展開能力】
 - 地域の課題から世界の課題へ発展できる人材

66

せとうち讃岐ジオパーク構想がめざすもの

- **真 (Science)** : 世界的な災害列島で暮らリテラシー
地域を大地の成り立ちから理解する
自然の恵みと災害を共に理解する
- **善 (Engineering)** : 持続可能な社会の構築
強みを活かした、弱みを逆手にとった産業・名産
災害列島における減災と災害からの復興
- **美 (Art)** : 自然の造形美としての備讃瀬戸と讃岐平野
旧石器時代から現代に続く石の文化と芸術 感動と共感
- **聖 (Holiness)** : ジオパークの聖地を目指す
里山・里海の信仰、四国遍路、**サヌカイトの聖なる音色**

前田仁先生から学びました

～ 東日本大震災から10年～

YouTube配信聴講者用

サヌカイトフォーン演奏によるレクイエム と 異好幸先生が語るサヌカイト



異好幸氏
NHK「ジオ・ジャパン」、ジオ・ジャパン2」で監修・解説を務めた。著書に「地震と噴火は必ず起こる」(新潮選書)、「和食はなぜ美味しいー日本列島の贈り物」(岩波書店)ほか多数。



林千景氏
1981年 愛知県三好市生まれ
香川県立坂出高等学校、
愛知県立芸術大学卒業
エリザベト音楽大学大学院
修了
マリンバ、サヌカイト奏者。
現在、藤井学園高等学校教師



波多翼氏
1993年 愛知県高松市生まれ
高松第一高等学校、
愛知県立芸術大学卒業
鍵盤楽器奏者
瀬戸内国際芸術祭での演奏
をはじめとし、香川県を拠点
に主にアンサンブルの分野で
活躍中

2021年3月11日(木)14:00 - 16:05

オンライン配信